

金沢大学生協

2021年度通常総代会

2021年5月20日(木) 角間キャンパス北福利食堂

金沢大学生協の総代会は、5月20日(木)18時30分から角間キャンパス北福利食堂において開催しました。



坂口専務理事による議案提案

当初は、人数制限をしながらも実参加を基本とする予定でしたが、石川県のまん延防止措置適用やそれを受けての大学の活動方針のレベル引き上げのタイミングと重なったため、実参加の呼びかけを中止し、書面参加中心の運営に切り替えました。そのため、当日出席は、総代総数178名中、本人出席は議長を含めて2名、書面議決が169名、合計171名



総代会会場の様子

となりました。オンライン形式での傍聴参加を受け付け、合計17名が傍聴しました。

他方、総代から意見を気軽に出してもらおうための取り組みとして、事前に総代意見交流会を開催しました。オンライン形式で、学生・院生を対象に2回開催し、のべ5名の総代が参加しました。また、教職員総代へは個別説明と質疑応答の機会を設け、希望者1名に対して実施しました。

(金沢大学生協 井上美紗子)

石川工業高等専門学校生協

第19回通常総代会

2021年5月25日(火) 石川高専養高館内生協食堂

昨年は6月開催と開催日が延期になった関係もあり、今年もコロナ禍の中、開催については延期になることも想定しておりましたが、無事5月に開催できました。

お陰様で石川高専では4月授業開始より継続的に対面による授業ができており、そのため総代会開催における案内や学生総代の立候補受付なども速やかに行うことができました。

総代会自体は書面議決を中心とした会になりました。当日の出席総代は7名ということで、できるかぎり



船戸理事長による議案提案の様子

会場内が密にならないよう配慮しました。今回は定款の一部変更という大きな議案も含まれましたが、無事に可決となり会を終えることができました。次年度についても書面による議決が中心となるかと思っておりますが、ルールに則り、今後も対応を行っていく所存です。

(石川高専生協 谷口 修)



総代会会場は食堂を利用し、食堂内の強力な吸排気による換気および塩ビ板による飛沫感染防止措置を行いました

大学生協事業連合

第3回通常総会

2021年5月29日(土)

大学生協杉並会館

コロナ禍のもと非常事態宣言の中で、今年も書面議決を中心とし、Web中継を軸にした通常総会となりました。今回、「意見交流会」の場を設け、このような時期だからこそ発言を保障し、元気の出る会員事例報告などを交流しました。

6地区8名の会員から、広域事業への経営評価やコロナ禍のもとでの会員の取り組み、経営再建の会員事例報告、総会議案への意見や期待など多岐に渡る発言をいただきました。

「意見交流会」は、総会の約半分の時間を使い、この状況下のもとで今私たちができることは元の状態に戻ることは無い。新しいスタイルで如何に再生できるか。それを実現するための事業連合への期待などが発言されました。

総会参加者は、代議員総数190名、本人2名、書面議決176名、計178名(昨年比+5)。Web中継は、最大107名が視聴。
(大学生協事業連合 長島 安永)



大学生協杉並会館地階の会議室で行われました

適格消費者団体

消費者支援ネットワークいしかわ(CSNI)の活動

草の根消費者教室の実施

石川県から「草の根消費者教室講師活用啓発講座事業」を受託し、県の研修を修了した消費者教育の担い手のみなさんとともに、高齢者の地域サロンや学校などで出前講座を行っています。中学校では家庭科の「身近な消費生活と環境」の単元に合わせて、

2017年に作成したインターネットでの買い物のプログラムを見直しながら実施しています。作成当初はネットでの買い物経験者はクラスに数名でしたが、コロナ禍もあり店での買い物を控えてネットで買い物する生徒が増えていきます。授業では、有名サッカー選手仕様のスニーカーを注文したのに偽物が届きサイトと連絡が取れない事例と、スニーカーを注文したつもりが届いたのはペンケースという事例を生徒に演じてもらい、トラブルにあわないために注意することをグループで話し合います。インターネットを上手に利用するために身につけたスキルを自分たちで考える授業は、生徒たちにも先生にも好評です。これからの年代に応じた消費者教育のプログラムを増やしていろいろな現場に出かけて行きたいと思っています。

(消費者支援ネットワークいしかわ 理事・事務局長 青海 万里子)

2017年に作成したインターネットでの買い物のプログラムを見直しながら実施しています。作成当初はネットでの買い物経験者はクラスに数名でしたが、コロナ禍もあり店での買い物を控えてネットで買い物する生徒が増えていきます。授業では、有名サッカー選手仕様のスニーカーを注文したのに偽物が届きサイトと連絡が取れない事例と、スニーカーを注文したつもりが届いたのはペンケースという事例を生徒に演じてもらい、トラブルにあわないために注意することをグループで話し合います。



野々市中学校での授業の様子

県生協連活動日誌

- 4**
- 4月 7日 第5回三役会▶Web会議
 - 4月 7日 臨時理事会▶Web会議
 - 4月17日 消費者支援ネットワークいしかわ理事会
▶金沢市長土堀青少年交流センター
 - 4月19日 協同組合学習交流会準備会▶石川県農業会館
 - 4月27日 第1回反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会
▶Web会議
 - 4月27日 石川県防災総合訓練第1回打ち合わせ会議
▶穴水町:のとふれあい文化センター
 - 4月30日 役員推薦委員会▶古府センター
 - 4月30日 第3回監事会▶古府センター
- 5**
- 5月 1日 石川県統一メーデー▶いしかわ四高記念公園
 - 5月10日 第1回労福協理事会▶フレンドパーク石川
 - 5月12日 第6回理事会▶Web会議
 - 5月14日 東海北陸県連協議会▶Web会議
 - 5月14日 第1回広報委員会▶Web会議
 - 5月18日 MCA無線訓練
 - 5月22日 消費者支援ネットワークいしかわ第8回総会
▶石川県女性センター・書面表決で出席
 - 5月25日 第1回企画運営委員会▶Web会議
 - 5月26日 第2回反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会
▶Web会議
 - 5月28日 いしかわフードバンク・ネット総会
▶石川県女性センター・書面表決で出席
 - 5月30日 第9回はだしのゲンをひろめる会第9回総会
▶保険医協会会議室・書面表決で出席
- 6**
- 6月 2日 第6回三役会▶Web会議
 - 6月14日 生協連第56回通常総会、第1回理事会、
第1回監事会
▶フレンドパーク石川
 - 6月18日 日本生協連第71回通常総会▶書面表決で出席
 - 6月21日 労福協第60回通常総会
▶フレンドパーク石川・書面表決で出席
 - 6月25日 第3回反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会
▶Web会議
 - 6月29日 第2回企画運営委員会▶Web会議
- 7**
- 7月 5日 第99回国際協同組合デー記念中央集会
▶Web研修
 - 7月 6日 石川県食肉公正取引協議会総会
▶石川県金沢食肉公社
 - 7月 7日 第2回理事会▶Web会議
 - 7月12日 石川県消費者大会第1回実行委員会
▶Web会議
 - 7月14日 石川県防災総合訓練第2回打ち合わせ会議
▶石川県地場産業振興センター
 - 7月19日 第3回反核・平和おりづる市民のつどい実行委員会
▶Web会議
 - 7月27日 労福協第3回理事会▶フレンドパーク石川
 - 7月28日 JCAラウンドテーブル▶Web会議
 - 7月29日 関西地連運営委員会、県連活動推進会議
▶Web会議

私のおススメの一冊

「傷ついた
画布の物語」

～戦没画学生 20の肖像～

無言館館主 窪島 誠一郎 著

無言館に所蔵されている作品のうちから著者が20作品を取り上げ、その作者について聞き取ったことと作品について解説している。

それぞれ優れた作品であり、若くして戦死せざるを得ないことの無念さを感じられて、戦争のむなしさを改めて考えざるを得なかった。作品そのものは、戦時中でありながら日常的な題材が多く、それぞれの作者が自分の眼で見つめたものを丁寧に愛情を込めて仕上げているのだと思われる。

例えば、中村萬平「霧子」は作者の妻の姿を描いた作品だが、妊娠していることを知りながら招集され、その姿をしっかりと自分の中に刻み込みたかったのではとってしまう。また、峰谷清「祖母なつの像」は入営直前まで自分をかわいがってくれた祖母をしっかりと眼にとどめておきたかったに違いない。その他の作品もそれぞれに解説されているが味わい深い解説だった。

無言館に一度来館したことがあるが、行く前に一読しておけば良かったのにと悔やまれる。

金沢医療生協 理事 西田 弘

編集後記

会員生協では、昨年引き続き書面議決を基本とし規模を縮小しての通常総(代)会となりましたが、「少人数でもしっかりと総代会にする。」「このような時期だからこそ発言を保障し、元気の出る会員事例報告などを交流した。」「これからもそれぞれを認め合い、一人ひとりの意見が大切にされる運営をすすめる。」など力強く組合員に寄り添った報告を102号で紹介することができました。

これまで当たり前であったことが様々な面で変化が加速しています。私たち自らが望ましい未来を創り出す変革につなげていかなければなりません。そのために、生協の大きな強みである組合員が参加してつながり、ともに力を出し合う領域をさらに広げ、安心して暮らせる地域社会づくりの取り組みを農協・漁協・森連とも連携し皆さんと一緒にすすめていきたいと思っております。また、今号よりカラー化し、皆さんの活動を紹介していきます。

専務理事 浅田 晋一